



社会福祉法人 福角会

発行：障害者支援施設 いつきの里

共同生活援助事業所 いつきホームズ

松山市福角町甲1829番地

Tel 089-978-1166

Fax 089-978-1411

http://www.hukuzumikai.com

E-mail: itsuki@poem.ocn.ne.jp

いつきの里だより



～新年会～

1月6日、今年最初の行事として新年会を行いました。今年の干支は、「巳年」で「復活」と「再生」の象徴とされており、何か新しいことを始めるには良い年といわれています。始めに、職員と利用者さんの皆さんに今年の目標や抱負を発表していただきました。「今年も頑張ります」と、皆さん思い思いに語っていただきました。続いて景気づけとして太鼓を叩いていただきました。力強い太鼓の音が響き渡り、その心地よいリズムに合わせて皆さんから拍手が起こり、大いに盛り上がりました。その後はキララの会役員会で決まったドーナツとジュースを皆さんで召し上がりました。「美味しい！」と頬張る姿を見ることができ、提供して本当に良かったと思います。また、お酒を飲める方には日本酒をご用意し、お屠蘇の変わりとして飲んでいただきました。利用者さんの笑顔を見るたびに、私自身も幸せな気分になります。今年1年が皆さんにとって幸せな年になるよう、これからも全力で支援していきたくと思います。(中谷)

～いちご狩り～

1月29日、余暇活動で双海町にある「いちご家おもり」へいちご狩りに行きました。コンビニで購入していたおにぎりで軽く昼食を摂り、いちご狩りをスタートしました。定番の「あまおとめ」から「あまえくぼ」「か



おり野」「おいCベリー」等、たくさんの品種があり、端から順に食べていきました。「どれにしようかな？」と悩みながら大きないちごをパクリと頬張っていました。嬉しそうな表情に、私も大満足でした。スタッフの方に採り方を教えて頂きながら、お腹いっぱいいちごが食べれて終始笑顔な利用者さんでした。また、行きましようね。(居村)



連携法人研修（柏涛会）

法人間連携協定を結んでいる柏涛会に令和6年11月18日～11月22日の5日間、現場実習に参加しました。実習前に思ったこととして、福角会で入職してから今まで、他の施設での実習の経験がなく、とても貴重な経験が出来るという期待とは裏腹に利用者さん、職員に迷惑をかけてしまうのではないかと不安がありました。



柏涛会市塚理事長の御挨拶より「現場実習の目的として法人間連携協定は南海トラフ地震等、災害が行った時に協力するために結んでいる。いざという時の為に顔の見える関係作り、また連携を結んでいる施設がどのような支援を行っているのか知ってもらうことが目的である。うちの法人では学ぶことは少ないと思うが、職員と仲良くなって帰ってもらいたい。」と話して頂き、そのお言葉でリラックスした気持ちになり、利用者さん、同じ実習生の昭和会・大洲育成園の職員、お世話になる柏涛会の職員とお互いが楽しい時間が送れるよう5日間積極的にコミュニケーションを取ることができました。

他事業所の方が実際に行っている活動に参加し、私自身が驚愕したことや良かったとをいくつかお伝えできればと思います。まず、赤松元気村という施設で、木が生い茂る何もない所から、約20年掛けて自然のある施設を完成させたと聞き、とても驚きました。自然豊かで空気が美味しく利用者さんにとって、とても働きやすい環境であると感じました。私の事業所では、農作業は行ってなく、とても新鮮な気持ちでゆず・さつまいもの収穫を利用者さんに取り方を教わりながら収穫する喜びを共有することが出来て良かったです。次に大地阿南という多機能型事業所の施設で、電子部品組み立て、電線リサイクルの作業班に参加させて頂きました。電子組み立ての作業では、利用者さんに教えて頂きながら行いましたが、繊細な作業でとても集中力がいると感じました。静かな環境で一つの作業に集中出来る利用者さんが作業されていて、利用者さんのニーズ、強みを活かした作業選択が出来ていると感じました。電線リサイクルの作業では利用者さん同士、職員と話しながら、生き生きと活動されているのが印象的でした。職員の利用者さんへ言葉掛けもとても丁寧でした。

5日間の研修を通して、一番印象に残っているのが、赤松元気村での農作業の体験でした。利用者さん一人ひとりが、元気で生き生きと働かれており、充実した活動が出来ていると感じました。赤松元気村の利用者さんは、毎日、日の光を浴びて体を動かしている為、足腰がしっかりしていて健康的であると感じました。いつき里・いつきホームズでは高齢化が徐々に進んでいます。私の中で健康寿命が大切であると感じ、外での活動を少しでも増やすことで健康寿命が延びるのではないかと考えています。関係職員に今回感じたことを伝え、外での活動を少しずつ充実したものにしていきたいです。活動の場で職員が心から楽しい気持ちで活動しなければ、利用者さんも楽しめないし充実した活動が出来ないと改めて感じました。心に余裕を持って利用者さんへ支援を行っていきたいです。研修に参加させて頂き、貴重な体験が出来ました。本当にありがとうございました。（砂田）

編集後記

2月は寒さが厳しい日も続きましたが、今年の3月は平年より高い気温となり、一気に春の訪れを感じれるそうです。さて、今月は「ひな祭り」があります。ひな祭りは、女の子のお祭りと言われている。なぜ、ひな祭りに「菱餅」を食べるのか気になり調べてみました。菱餅はピンク・白・緑の餅を重ねたもので、男雛と女雛にお供えする道具の一つになっています。菱形の形にも理由があり、繁殖力の強い菱にあやかり、子孫繁栄の願いを込めて菱の実を型取ったそうです。先のとがった菱の実はヒイラギのように魔除けの意味もあり、災厄を払うために形を真似したと言われているそうです。日本に行きごとは沢山ありますが、自分自身、何となく行事をやっていることがあったので、しっかり意味を理解し行事ごとを大切にしていきたいです。（越智）

